

耕作放棄地活用

障害者就労 地域ににぎわいを

安佐北区の竹坂地区

障害者が働く事業所を運営する広島市中区の一一般社団法人「二百人」が、安佐北区安佐町飯室の竹坂地区で、薬用作物のトウキやサイコの試験栽培に乗り出した。山あいの同地区では耕作放棄地が目立つ中、地元農家に栽培を呼び掛け、地域の活気づくりも模索する。

(中川雅晴)

も取り組んできた。



2010年から企業
のホームページ制作を
手掛ける百人は昨年
10月、同地区にある竹
添憲治代表理事(57)の
実家に、障害者の就労
を支援する事業所を開
設。スタッフ6人とと
もに10、50代の精神障
害者9人がデータの入
力作業をこなす一方、
20坪の畑で野菜栽培に

今年5月からは畑の
一部で入浴剤に使える
トウキとサイコを栽
培。草取りをする程度
で育ち、秋には葉を取
り、乾燥して販売し、
1年目だが、今は34人
が、今後は100人を
目指す。同地区の人口
は50年が、多い地域
なので、活気を生み出
せられたい。年寄りが
多い地域なので、活
気を生み出せられたい。
年寄りが多い地域な
ので、活気を生み出
せられたい。年寄りが
多い地域なので、活
気を生み出せられたい。

今年5月からは畑の
一部で入浴剤に使える
トウキとサイコを栽
培。草取りをする程度
で育ち、秋には葉を取
り、乾燥して販売し、
1年目だが、今は34人
が、今後は100人を
目指す。同地区の人口
は50年が、多い地域
なので、活気を生み出
せられたい。年寄りが
多い地域なので、活
気を生み出せられたい。
年寄りが多い地域な
ので、活気を生み出
せられたい。年寄りが
多い地域なので、活
気を生み出せられたい。

薬草を試験栽培

「地域ぐるみで障害者の就労につなげる取り組みにしたい。薬草の里にするのが目標」と力を込める。



障害者の農作業を見守る竹添代表理事(右端)